

事業番号	15 03 01	事業改善シート (25年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業			担当課	部局 教育委員会事務局 課・室 高校教育課 E-mail <a href="mailto:koko@pref.nagano.lg.jp">koko@pref.nagano.lg.jp</a>
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実		実施期間	H17 ~
	施策の総合的展開	5 すべての子どもの学びを保障する支援			

## 1 事業の概要

目指す姿	生活支援相談員を中心とした高校生活支援体制づくりにより、各高校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が、日本語(特に読み書き)や日本独特の風習・習慣の壁をスムーズに乗り越え、併せて、高校卒業後において、日本の市民社会の一員として円滑に人間関係を構築して社会的に経済的自立ができるちからを身につける。	
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立高等学校に在籍する外国籍生徒の数は、平成22年度に300人を超え、平成24年度には340人となっている。</li> <li>外国籍生徒の増加に伴い、日本語の理解や使用、授業や日常生活に支障のある要支援生徒数も相対的に増えている。同時に、当該生徒の家族とのコミュニケーションにも支障を生じている場合もあり、生活支援相談員の活動の機会は増加している。</li> </ul>	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 県立高等学校に在籍する要支援生徒への修学支援として設置者が行う事業
	県民との協働による実施：困難	

事業内容	① 成果目標 (H25)				
	各校の現状と要望を把握しながら支援員の配置を行い、各校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が安心して高校生活を送ることができるようにする。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)
日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業	直接	相談員配置校 23校 相談員配置数 23名 相談等従事時間数 906時間	3,054	2,809	3,059
		合計	3,054	2,809	3,059

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	3,258	2,905	3,054	3,059
	補正予算				
	合計(A)	3,258	2,905	3,054	3,059
	国庫支出金				
	県債				
	その他( )				
	一般財源	3,258	2,905	3,054	3,059
	決算額(B)	3,209	2,898	2,809	
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.50		
概算人件費	4,129	4,129	4,129	0	
概算事業費(B(A)+C)	7,338	7,027	6,938	3,059	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
相談員配置校	24校	24校	23校	未達成	24校

目標に対する成果の状況	生活支援相談員を23校に配置し、帰国生徒及び外国籍生徒が、高等学校における授業及び日常生活において速やかに適応できるように、言語、学習、日常生活等について必要な支援を行った。また、相談員が必要に応じて団体への訪問、情報交換及び研修会へ参加することを可能とした。 未達成については、特定の学校に当該生徒が集中する傾向により学校数が減少したため。生徒数はほぼ同数であった。
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成26年度は、生活支援相談員数を25年度当初と同数と見込み、引き続き集団学習による要支援生徒の日本語習得支援を行う。
--------------------	--